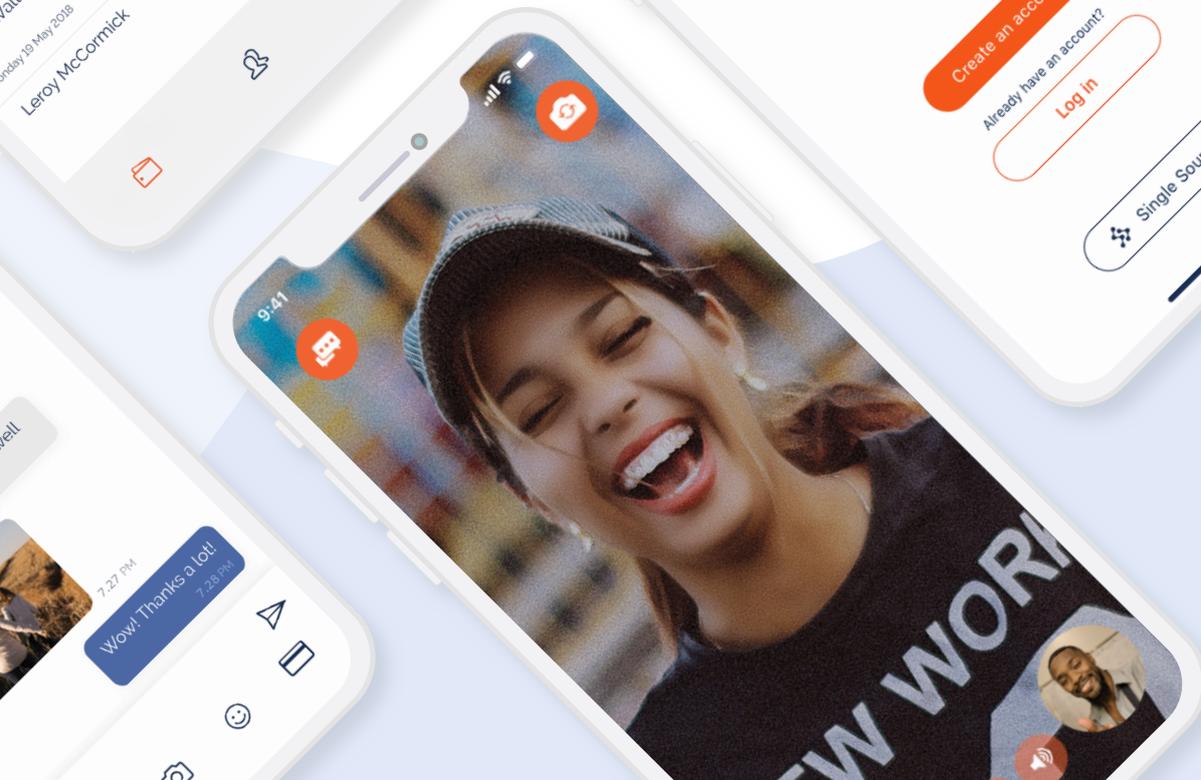
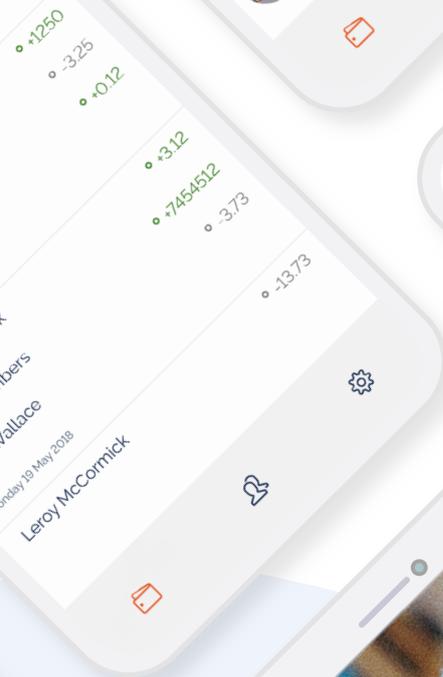
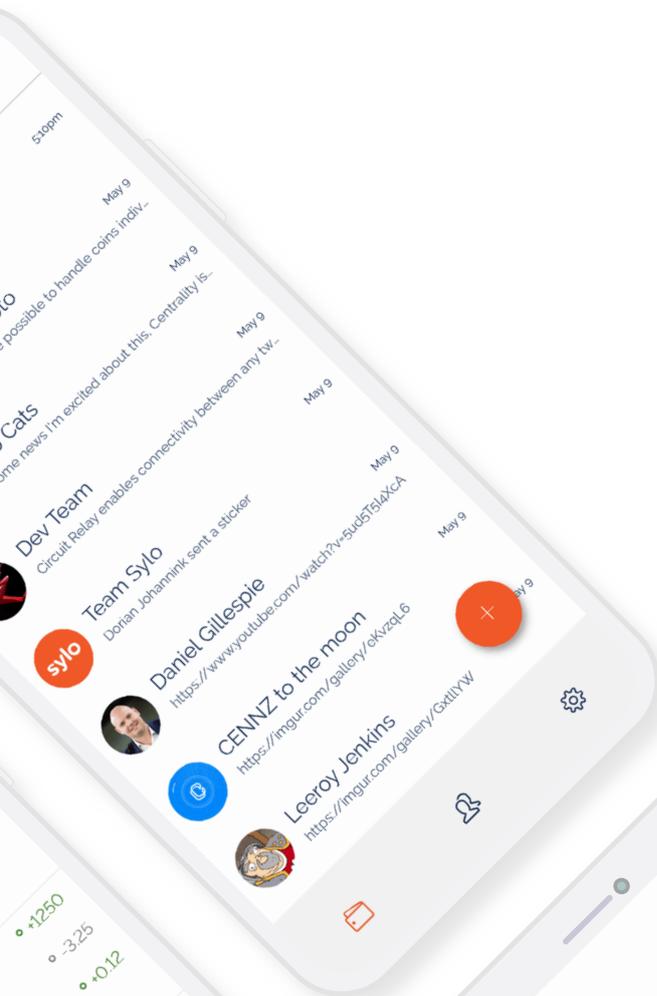




## Decentralised Communication

WHITEPAPER 2018



## 概要

Syloプロトコルは分散型の通信プロトコルであり、Syloネットワーク上でのユーザーとConnected Applicationsとの間における安全で標準化された接続を容易にする。このSyloプロトコルは、完全に分散化され自律した通信、ストレージおよび支払いネットワークとして実装が行われており、サードパーティが提供するConnected Applicationsにて活用される。

Syloプロトコルの通信面での各機能は、P2P通信アプリケーションであるSyloアプリケーション([www.sylo.io](http://www.sylo.io))、内ですでに使用されており、機密性の高い音声通話、ビデオ通話およびメッセージングが実現されている。今回の新しいバージョンSyloアプリケーションは、App StoreとGoogle Playストアから（提供されている場合）AppleおよびAndroidデバイスにダウンロードできる。本ホワイトペーパー発行の日付時点でSyloアプリケーションはすでに世界で18,000人のユーザーを獲得している。

Syloアプリケーションは分散型Syloプロトコルで実装され、完全に分散型の通信アプリケーションとなる。Syloアプリケーションは、Syloエコシステムのハブとなる。すなわち、Syloプロトコルを使用した、Connected Applicationsが提供する分散化された機能にシームレスにアクセスができる機密性の高い通信アプリケーションである。

Syloメイントークン (SYLO)は、完全に分散化されたブロックチェーン上でSyloプロトコルにアクセスし、Syloプロトコルを動かす燃料となるユーティリティ・トークンである。Syloプロトコルにアクセスし、リアルタイムでの通信（ビデオ、音声、メッセージ、データストリーミング）、有料通信、分散型ストレージ、プロフィールやアドレス帳管理を利用するにはSYLOが必要となる。

Syloチームは、SyloプロトコルがCentralityエコシステム内のすべての分散型アプリケーション(DApps)のための通信プロトコルとなることを確実にするためCentrality ([centrality.ai](http://centrality.ai))と提携している。

Syloチームはシンガポール企業であるSylo Protocol Pte. Limitedを通じトークン生成イベント(TGE)を実施し、\$0.0087のレートでSYLOを流通させる予定である。

## 序文

開発者とユーザーの両方の観点からみて、現在のオンラインビジネスモデルは不完全である。解決しようとしている問題に関わりなく、アプリケーションは市場での競争力を持つために幅広い機能群を保持しなければならない、一方でユーザーはズラリと並んだアプリケーションを使用するために多数のアカウントを所有する必要がある。

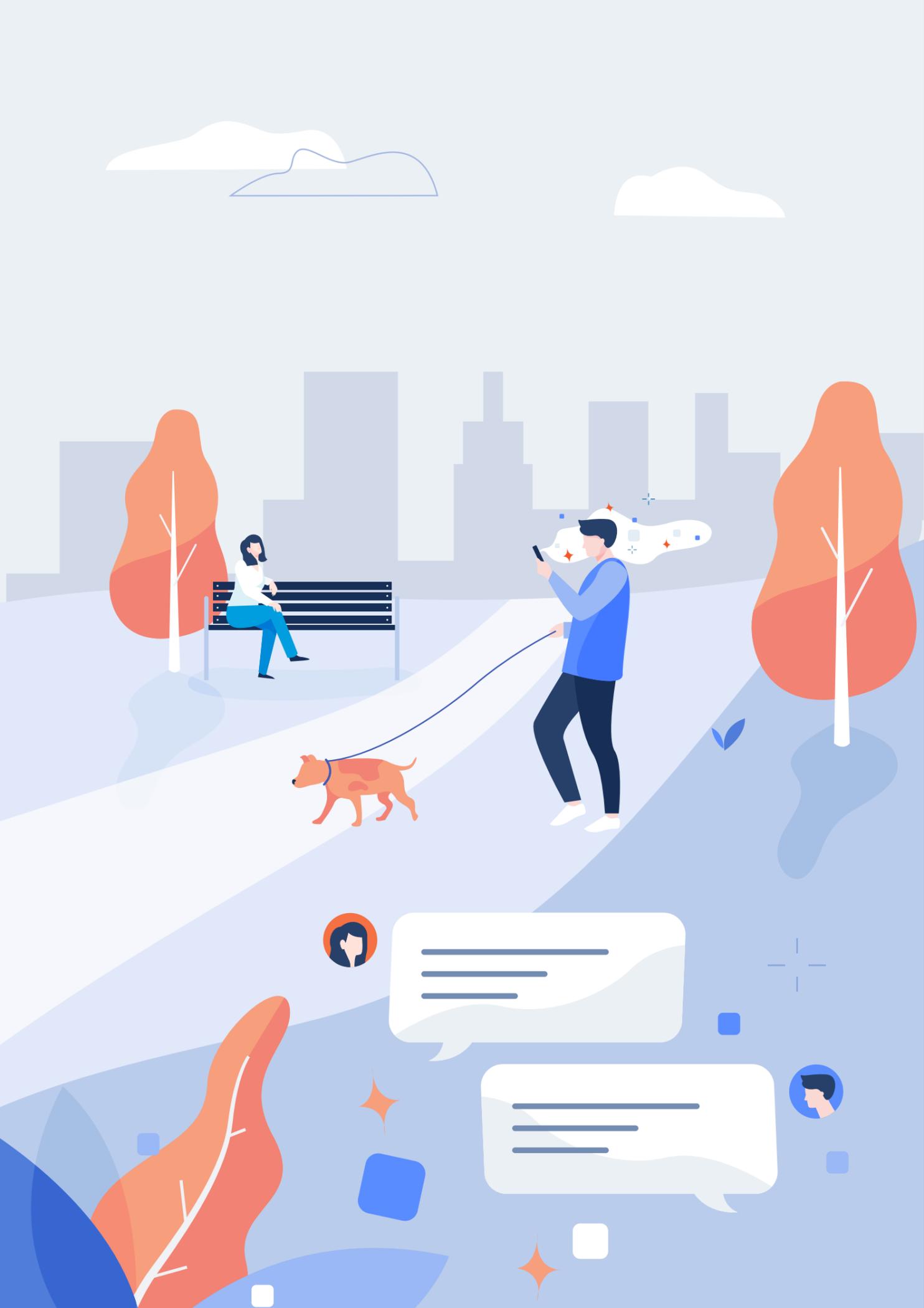
そして価値や実用性が相互に関わることはない。不均衡がすべての損失に複雑性をもたらす一方で、少数がエコシステムの企業をコントロールしている。

ユーザーと企業が互いに利益をもたらすことができるよう協力できる環境が必要である：

- 企業にとっては、同じ労力でより多くの利益を引き出す環境。
- ユーザーにとっては、自身が所有するものを管理し、異なる機能をシームレスに操り、どこにいても同じIDから安全で容易に通信することが可能な、自身が世界の中心となれる場所。

これがSyloである。





# 目次

- 概要.....02
- 序文.....03
- Sylo プロトコル.....07
- Sylo テクノロジー.....09
- Sylo アプリケーション.....11
- Connected Applications と Sylo.....16
- SYLOトークン (SYLO) .....22
- トークンエコノミー.....24
- 成長モデル.....26
- トークンの発行.....27
- Syloチーム.....32
- リスク概要.....38

## 免責条項

SyloラウンドAトークンおよび／またはSyloトークン(各々につき下記を参照)の購入を規律するいかなる法的条項および条件はユーザーが発行団体と締結する購入同意書に記載される。本書はSyloプラットフォーム、SyloラウンドAトークンおよび／またはSyloトークンに関連する宣伝概要および参考資料を含み、いかなる表明および保証を意図したものでなく、また行わない。本書の記述内容(いかなる商品(第三者またはその他から提供されるものにもかかわらず)に対する製品クレームを含むがこれらに限らず)はリサーチにより必ずしもまたは十分に個別に検証または立証されているとは限らない。また、ユーザーは当該記述に関連するデューデリジェンスおよび判断を行う必要があり、いかなる権利、見込み、資格を発生するものと解釈されるべきでなく、またはいかなる種類の職務、債務または義務を負うものと解釈されるべきでない。

管轄区域によっては、Syloプラットフォームにおけるアプリケーションまたは機能、およびいかなるサービス、特徴または商品をユーザーに提供することに対し、本書で述べるように開発された場合(場合によってはバリエーションを含む)適用される法律や規制、および規制者(保健医療商品登録や認可、およびその他のいかなる認可、規制または税務要求、データプライバシーまたはデータ保護規制、テレマーケティング規制または制限などを含むがこれらに限らず)を含む政府機関の活動によって規制される場合がある。つまり、特定の管轄区域では、本書で述べるように開発された場合(場合によってはバリエーションを含む)はサービス、特徴または商品をユーザーに提供ができない可能性がある。また、提供可能であっても、追加修正、要求、制限、規制、条件またはその他の条項が適応されることがある。

関連する購入契約書に記載しているリスク概要(網羅しているものではない)のSyloプラットフォーム、SyloラウンドAトークン、Syloトークンまたはその他に関わるリスク要項を慎重に読み考慮するものとする。Syloプラットフォームの使用にあたり、本書で述べるように開発された場合(場合によってはバリエーションを含む)ユーザーの利用契約および／またはライセンス同意書、およびポリシーに従うことになる。これは別途の同意書に記載される(同等に作られたものに対し、期待や依拠してはいけない)。疑義を避けるために付言すると、これらのエンドユーザーの利用規約および／またはライセンス同意書、およびポリシーはSyloラウンドAトークンおよび／またはSyloトークンの取得を規律する法的条項や条件とは別物となる。

当社(または当社の従業員、代表および関係者)から配布、供給、または公表されたいかなる情報または書類(本書およびいかなるSyloラウンドAトークンまたはSyloトークンの購入に関わる購入契約書を含む)は、場合に応じてSyloプラットフォーム上(または開発済みまたは開発中にかかわらずその上に構築されたその他のアプリケーションおよび／またはプラットフォーム)に提供中または提供予定のサービス、行っているまたは行う予定のランザクション、または参加をオファーおよび勧誘をするものと一切解釈されず、してはならない。

Syloトークンは、規制された商品(下記に定義される)を構成せず、かつ、その特徴を有しない。従って、Syloトークンの購入、保有または取引に関して、シンガポールの法律および規則に基づく規制商品に関連して適用される規制上の保護または救済措置を求めまたは利用することはできない。

## Syloプロトコル

現在SyloプロトコルはSyloアプリケーションへのユーティリティとして、完全に分散化された機密性の高い通信サービスを提供している。Syloアプリケーションの機密ネットワークレイヤーとして機能するSyloプロトコルはP2Pコネクションを構築し、またネットワーク上で機密にデータを取引し、ユーザーにとって効率的なやりとりの方法を提供する。

SyloプロトコルはSyloエコシステム内のConnected Applicationsのユーティリティとして完全に分散化された機密性の高い通信を提供するために開発されている。ブロックチェーンを搭載したSyloプロトコルは、SyloアプリケーションおよびサードパーティのConnected Applicationsのネットワークレイヤーとして機能し、ネットワーク上の特定の通信やサービスに対する請求オプションも提供する。

Syloプロトコルはネットワークの機密ネットワークキング、通信、ストレージ機能を容易にする報酬として、各資源に対してSYLOトークンを与える、自律型のネットワークとなる。Connected Applicationsは、対費用効果の高いユーティリティとしてSyloプロトコルの通信機能を利用し、アプリケーションの手数料はプラットフォームのメンテナンスに利用される。

SyloプロトコルはユーザーやSyloストレージと相互作用する際に、アプリケーションが標準化されたデータ形式で実行されるようにする。これにより「完全な相互運用性」が生まれるが、これはSyloエコシステム内において、Connected Applications間で機能および価値の共有を促進するうえで重要な要素となる。

**Connected Applicationsのより詳細な情報は本書内の「Connected ApplicationとSylo」を参照。**

## 分散型の通信プロトコル

Sylo プロトコルは、Sylo エコシステム内の Connected Applications すべてのユーティリティとして、完全に分散化された機密性の高い通信を実現するために開発中である。



## 分散型コミュニケーションプロトコル

## Syloテクノロジー

SyloプロトコルはクライアントサイドAPIとサービスで構成されており、Connected Applicationsによってネットワーク上でのユーザー間の機密性の高い通信機能が実現する。

Syloプロトコルの分散型の各機能は、機密性の高い通信およびウォレットアドレスからウォレットアドレスへのデータ転送機能の2つの配信サービスより実現される。

### 1. 分散型シグナリング

P2P コネクション確立

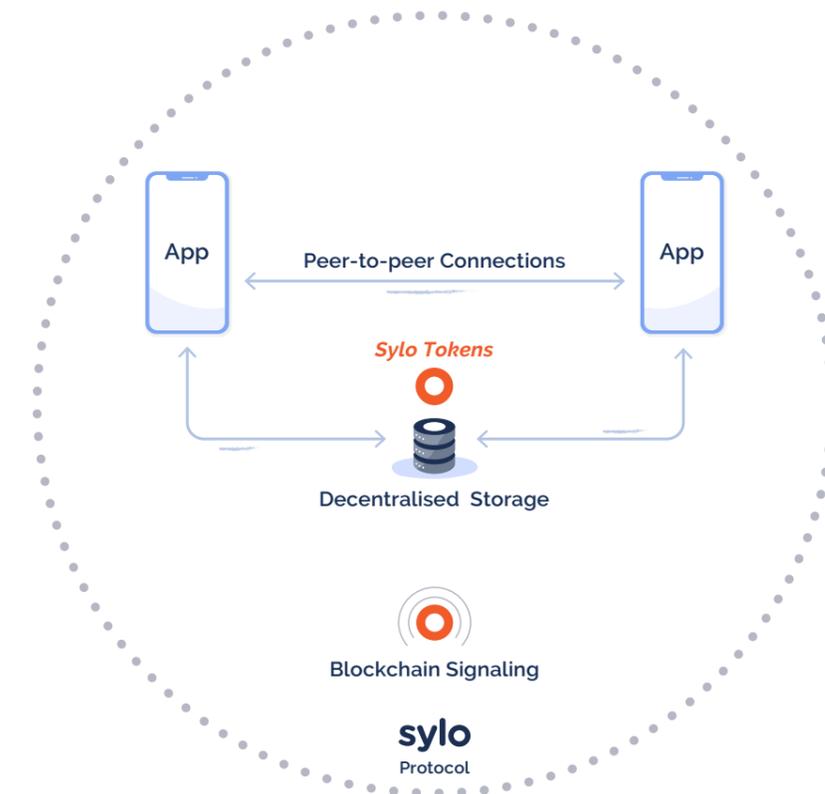
メッセージ

プッシュ通知

### 2. 分散型ストレージ

リアルタイムの通信の場合、分散型シグナリングは暗号化されたP2P接続を確立するためにオンデマンドで使用される。これらの接続は機密であり、すべての通信はエンドツーエンドで暗号化され、ピアから別のピアに送られる。

非同期通信の場合、Syloプロトコルは、Sylo分散型ストレージネットワークの任意の固定記憶域を使い「移動中」のデータを確実に配信する。



## Sylo テクノロジー

## Syloシグナリング

SyloシグナリングはSyloネットワーク上の各資源により実行される分散型サービスである。Syloシグナリングはピア間の接続機能を提供し、信頼性の高い通信を可能にするためにメッセージや接続要求を送信する。ネットワークにこのサービスを供給する報酬として、SyloシグナリングノードはSYLOトークンを得る。

## Sylo ストレージ

Syloストレージは、ストレージ資源の分散型ネットワークであり、Syloネットワーク上のConnected ApplicationsとユーザーはSYLOトークンで支払うことでこれを利用する。

Syloストレージは、ユーザーの情報を特定のコンテンツに（適宜に）追加し、これによりConnected Applicationsのユーザーはすべての分散された情報を自分のものとして保持できる。また、Connected Applicationsのユーザーは、保存されたデータをすべて見ることができる。ユーザー関連のコンテンツの保存に加えて、Syloエコシステム内のConnected Applicationsは随時Syloストレージを使用することができる。

アプリケーションおよび／またはユーザーによってSyloネットワーク上で共有されたコンテンツは、継続したアクセスを提供しトランジット中のコンテンツを確実に配信できるようにするため、またはバックアップサービスとして、Syloストレージを使用することができる。Syloプロトコルにより、こうしたサービスの提供の報酬としてネットワーク内のノードにSYLOトークンが与えられる。

## Syloアプリケーション

Syloアプリケーション(Sylo)はSyloプロトコル上に構築された、分散型通信および通話アプリケーションである。Syloアプリケーションは、ブロックチェーンベースのSyloプロトコルで構築された最初のアプリケーションであり、Syloアプリケーションで既に商品化されている技術を使用している。このアプリケーションはApp StoreとGoogle Playストアから現在入手可能である。

ユーザーにとってSyloは分散型アプリケーションエコシステムのハブとなる。一つのアプリケーションでユーザー間の安全な通信、企業とのやりとりが可能なことに加えて、他のConnected Applicationsが提供する分散化された機能を探し出しアクセスすることができる。

SyloはConnected Applications内でのすべてのやりとりに関する「信頼できる情報源」となる。つまり、ユーザーのために連絡先、通信、そしてConnected Applicationsから保存されたデータを収集する。さらに、一か所でプロフィール情報、許可関係、Connected Applicationsの基本設定を一括管理できる場所を提供する。

Syloエコシステム内のユーザーとConnected Applicationsを結びつける重要なものとして、Syloアプリケーションは関係当事者が安全に意見を交わし、価値を交換し、お互いのために協働する、新しい「ユーザーファースト」手法の骨組みを提供する。慣れ親しんだ対話的なやりとり、新しいトークンモデル、使いやすい分散型テクノロジーを融合させることで、Syloアプリケーションはユーザーに力を与え、人々とビジネスがリアルに対話するための分散化された方法を主流化することを目指している。





Sylo テクノロジー

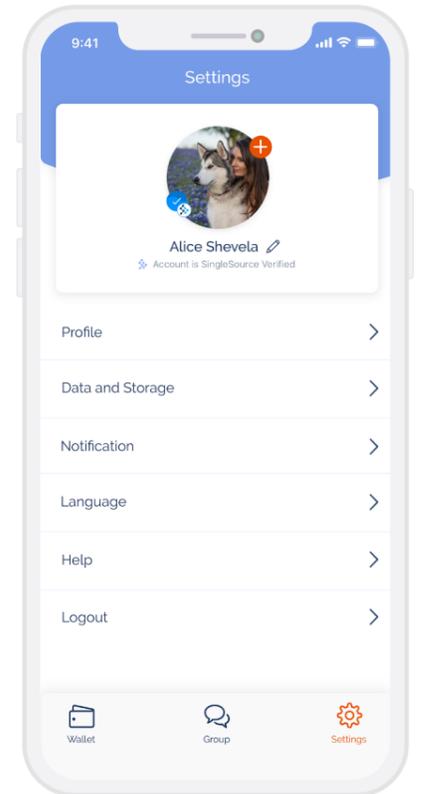
## Sylo アプリケーションの主な特徴



### プロフィール管理

Syloはユーザーが分散化されたプロフィールと好みの設定を管理できる場所である。Connected Applicationsは要求に応じて、カスタムフィールドとデータをユーザーのプロフィールに追加できる。保存された情報はユーザーのプロパティを残したままConnected Applicationsからアクセスすることが可能。

このプロフィールとこれらの保存された設定はユーザーが別のConnected Applications間を移動する際、保存および適用される。



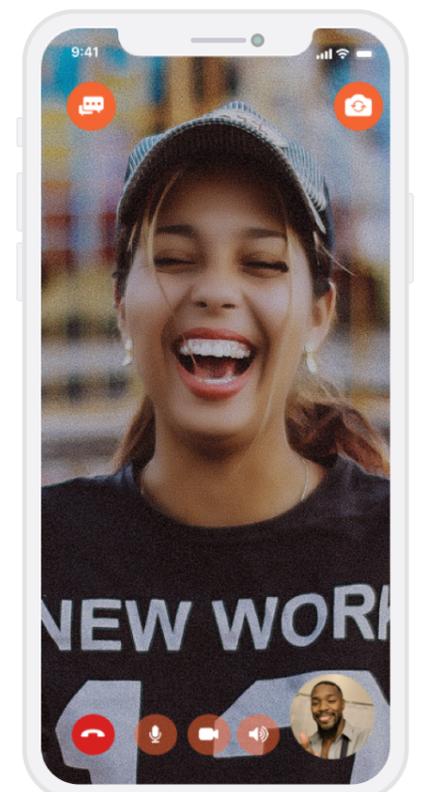
分散型プロフィール管理



### 機密性の高い通信

Syloは、機密性の高い音声、ビデオ、メッセージ通信を提供する。ユーザーと企業にとって使い慣れた通信であり、すべてのユーザーへの分散型通信を通じ自律性を確保するために、Syloプロトコル上で構築された。

Syloアプリケーションは請求機能を充実させるため、Syloプロトコルを利用し、ユーザーが個別の通信に対し請求できるようにした。企業も通話、ビデオ会議および個人的なメッセージの対価として容易に支払の受け取りが可能。



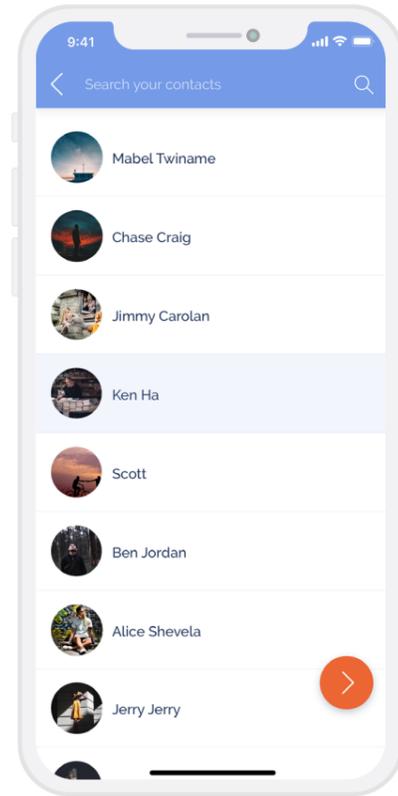
ビデオ、音声、メッセージング



## 分散型のアドレス帳

Syloアドレス帳には、分散化されたユーザーの連絡先が含まれ、これらは安全に保管されており、ブロックチェーン上のSyloプロトコルを介してアクセスすることが可能。エコシステム内でやりとりするその他のConnected Applicationsはもちろん、ユーザーの個人的な連絡先も含まれている。

従来のでありつつ新しい、これがユーザーの分散化された世界の中心であり、分散化されたすべてのインタラクションのホームとなる。



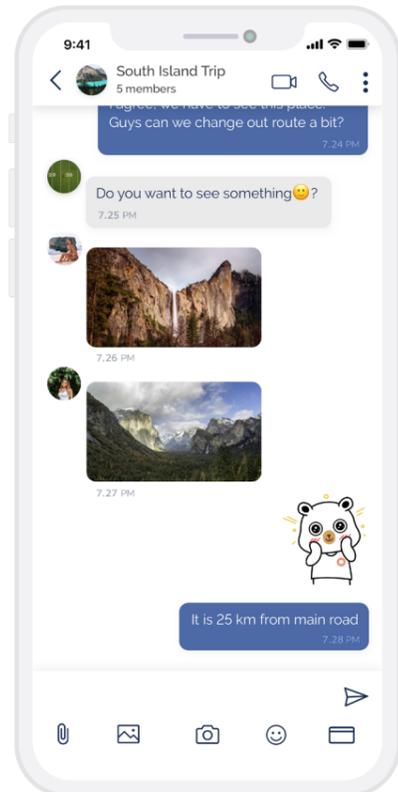
分散型アドレスブック



## 分散型のストレージ

Syloのユーザーは、自分で保存したすべてのコンテンツおよび、Syloを介してアクセスしたConnected Applicationsが彼らのために自動保存したコンテンツにもアクセスできる。

ユーザーは他者に使用を許可したコンテンツを完全に把握できる。



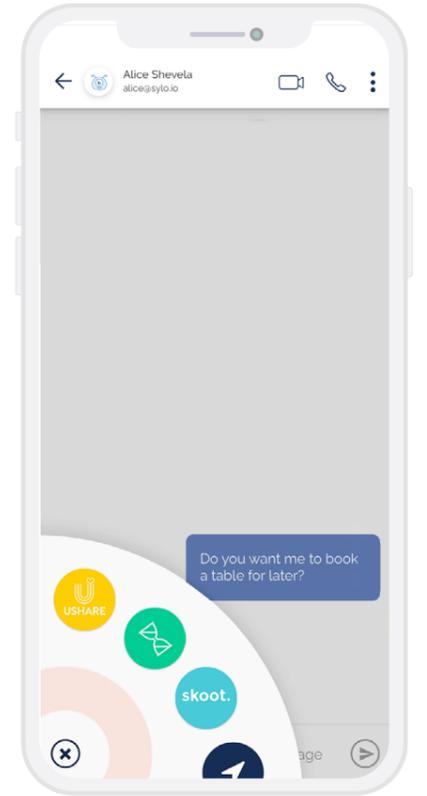
分散型ストレージ



## Connected Applications

Syloアプリケーションから、ユーザーはSyloプロトコルに構築された他のDappsにアクセスできる。

アプリケーションコネクターツール技術を使って、Connected Applicationsは最初にアクセスした時にダウンロードされ、そのあと継続してSyloアプリケーションの一部となる。Connected Applicationsにより、ユーザーのSyloアプリケーションの世界が広がり、アプリケーションをダウンロードしたりApp Storeにアクセスする手間がなくなる。



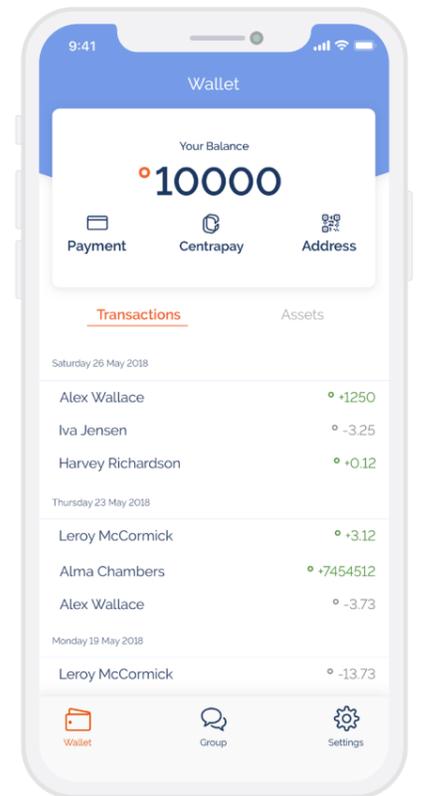
Connected DApps



## トークンウォレット

SYLOにはERC20トークンの保管、送金が可能なERC20トークンウォレットが含まれている。

SyloウォレットはConnected Applicationsのディレクトリとしての機能も兼務する。ここから、ユーザーは他のアプリケーションを検索したり、トークンを購入して取引をしたり、一回の操作でアプリケーション間の移動ができる。



トークンウォレット

## Connected Applications と Sylo

### Connected Applicationsとは？

Connected Applicationsとは、Syloプロトコルを使用して、ユーザー間の通信、コンテンツの保存を行い、Syloエコシステムのなかで相互の利益のために共有を行う、スタンドアローンのアプリケーションである。

Connected Applicationsは2つのコンテキスト内で実行できるという利点がある。

1. Syloアプリケーションから完全に独立し、アプリストアからユーザー独自のアプリとしてダウンロード可能。  
または、
2. Syloアプリケーション内から

### Connected Applications内の分散型通信

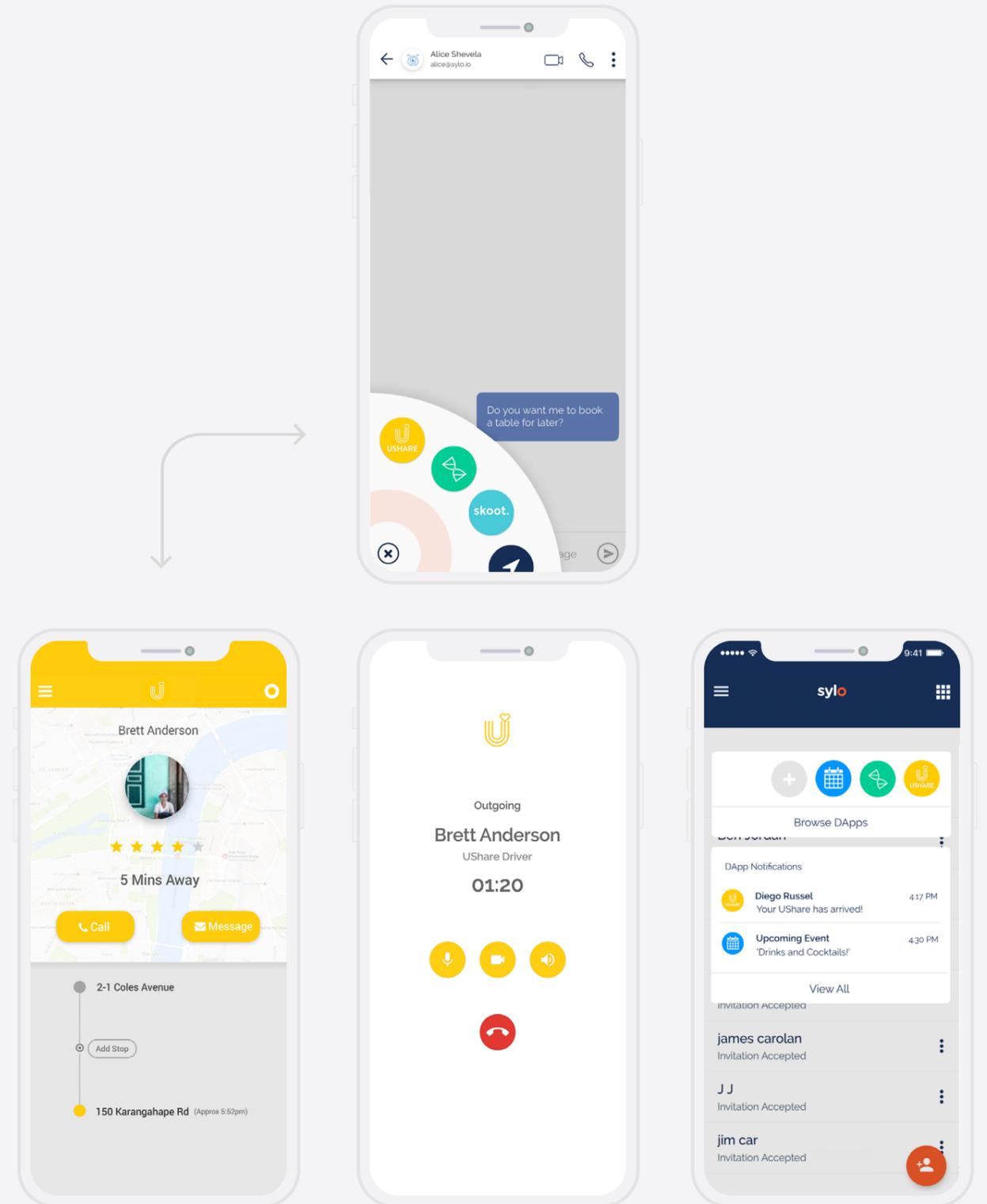
Syloプロトコルは、Sylo通話プラグインおよびSyloメッセージングプラグインを使うことによって、スタンドアローンのConnected Applicationsに分散化された通信機能を提供する。

Connected Applicationsは必要に応じ特定の通信に対し、Syloプロトコルによるブロックチェーン対応の課金機能を追加できる。

Connected ApplicationsはSyloストレージを使用し、ユーザーの通信を保存し、ユーザーがアクセスの許可を与えたプロフィールデータの保存およびアクセスも可能である。

右の図は、スタンドアローン型のアプリケーションであるUShareの中にある、Sylo通話プラグインおよびSyloメッセージングプラグインの一例である。UShareはオンデマンドの交通機関アプリケーションで、タクシー、レンタカー、電動バイクや公共交通機関を使用する際に利用できる。Sylo通話プラグインおよびSyloメッセージングプラグインを使って、タクシー運転手と利用者はサービス利用の前後にやりとりができる。

Syloプロトコルはこれら2つのプラグインの分散型の接続を処理し、2つのUShareのピア（運転手と利用者）が通信することを可能にする。



Sylo 通信プラグインの例

## Sylo アプリケーション内のConnected Applications

Syloネットワークのハブとして、Syloアプリケーションは、Connected Applicationsが独立のビジネスとトークンエコノミーを促進しユーザーの獲得をする手段となる。

Connected ApplicationsはSyloアプリケーションの機能とSyloのユーザーベースと結びつくことで恩恵を被る。つまり、Syloによって、Connected Applicationsのトークンの利用が広がり、成功の手助けをする。その一方で、徐々に新しいアプリケーションとの接続を確立することで、Syloアプリケーションそのものの有用性をユーザーに広めている。

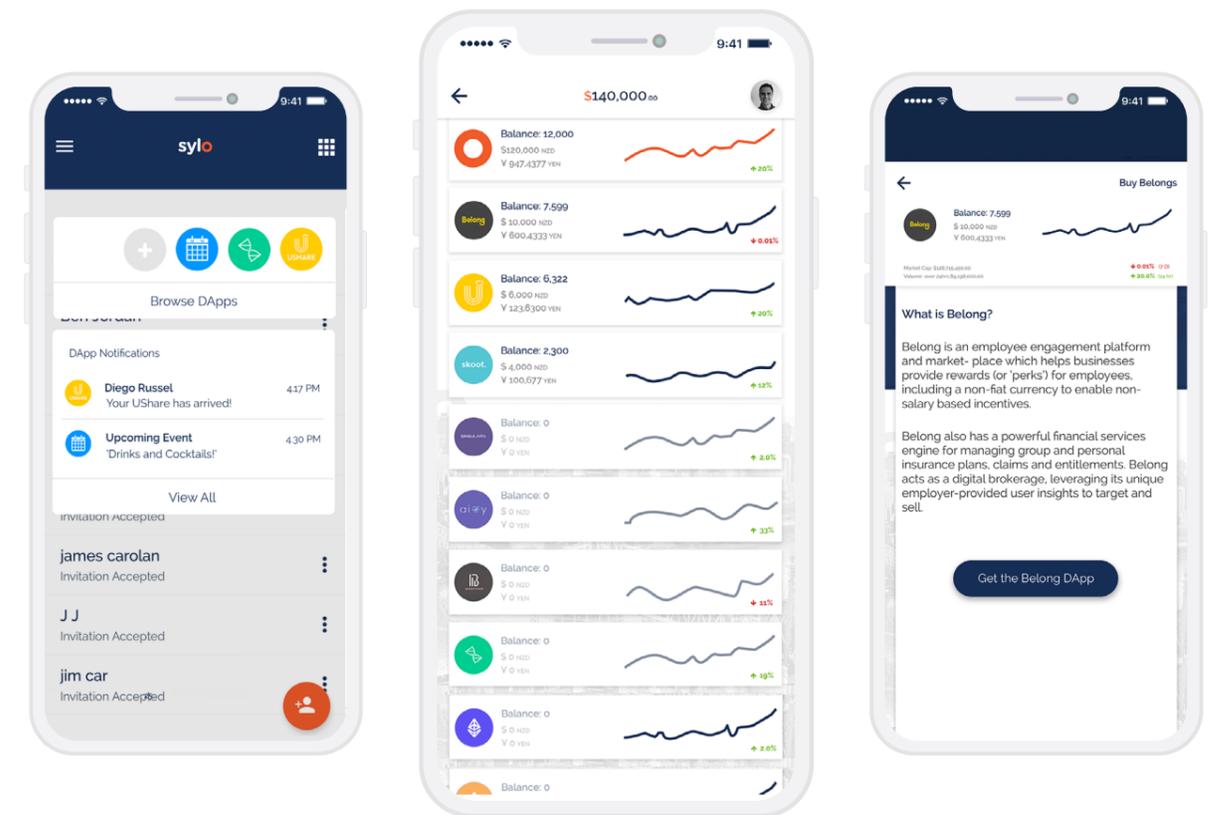
SyloアプリケーションはSyloエコシステム内の全ての機能を一つに集約する場所である。トークンモデルを利用することによって、ユーザー全体が新しい機能を体験できる。ユーザーにとっては、Syloアプリケーションを通じConnected Applications間を自由に移動し、シームレスに繋がることできる。

スマートコントラクトによって、ユーザーがSyloアプリケーション内のさまざまな機能を利用することにより、Connected Applications間で価値の公平な分配が可能となる。Connected Applicationsが提供する機能に依存するSyloアプリケーション内の特定のアクションの実行に対し、SYLOトークンにより支払いが行われる。その際にはConnected Applicationsのビジネスモデルやトークンユーティリティの取引相場が参照される。

## Connected Application ディレクトリ

SyloアプリケーションはConnected Applicationsディレクトリを含み、Connected Applicationsに紐づくトークンのウォレットとしての役割も有する。このディレクトリから、ユーザーは新しいDAppをブラウザしてダウンロードすることができ、Connected Applicationsからトークンというかたちで報酬を受けることもできる。

Sylo自体も、エコシステム内にある他のアプリケーションを宣伝し、ユーザーにそれらを使うよう促すことで報酬を受けることができる。また、機能リストを表示して、Syloのインターフェースの中の他のConnected Applicationsを使うように促す。

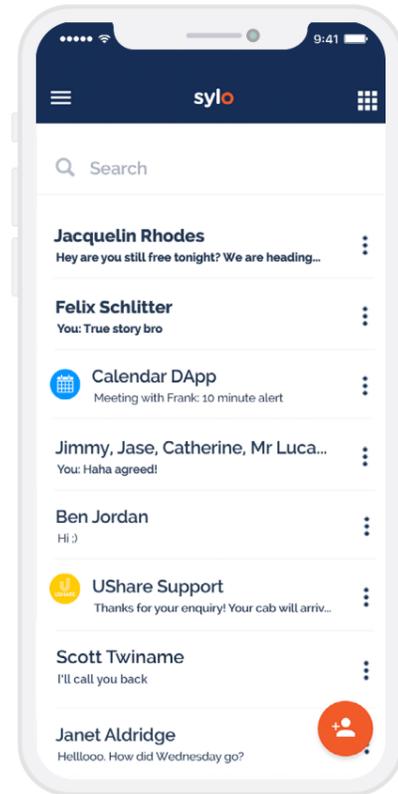


Connected Application ディレクトリ

## 連絡先としての Connected Applications

連絡先リストから、大きな分散化されたエコシステムのなかで、それまでに使った、Connected Applicationsと再接続することができる。連絡先リストに連絡先として表示されると、そのユーザーが使いそうなConnected Applicationsが表示される。

この場合、Syloはメッセージや通知の連絡先となり、Connected Applicationsが更新され続ける「分散型ハブ」としてブランドの印象を与える。

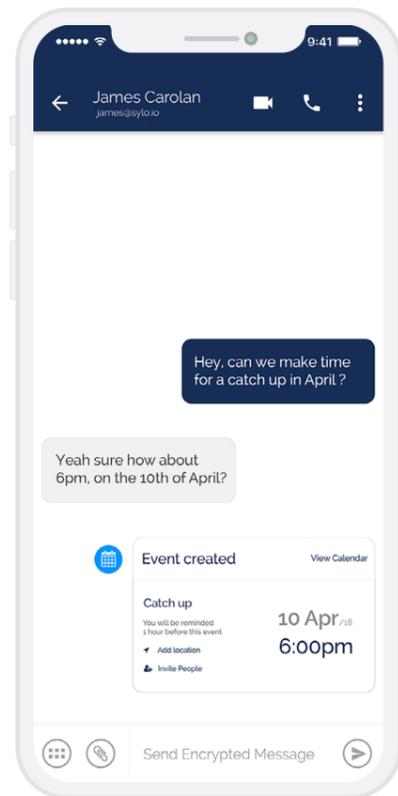


連絡先としての Connected Applications

## 組み込み機能としての Connected Applications

Connected Applicationsは、Syloアプリケーションの「ネイティブ」機能として組み込まれる。この例では分散型カレンダーアプリケーションの予約機能がネイティブSyloチャットフィードの中に組み込まれている。

イベントが作成されると、カレンダーアプリケーションのビジネスモデルに基づいて、トークンはカレンダーアプリケーションに送られ、ユーザーのカレンダーがアップデートされる。

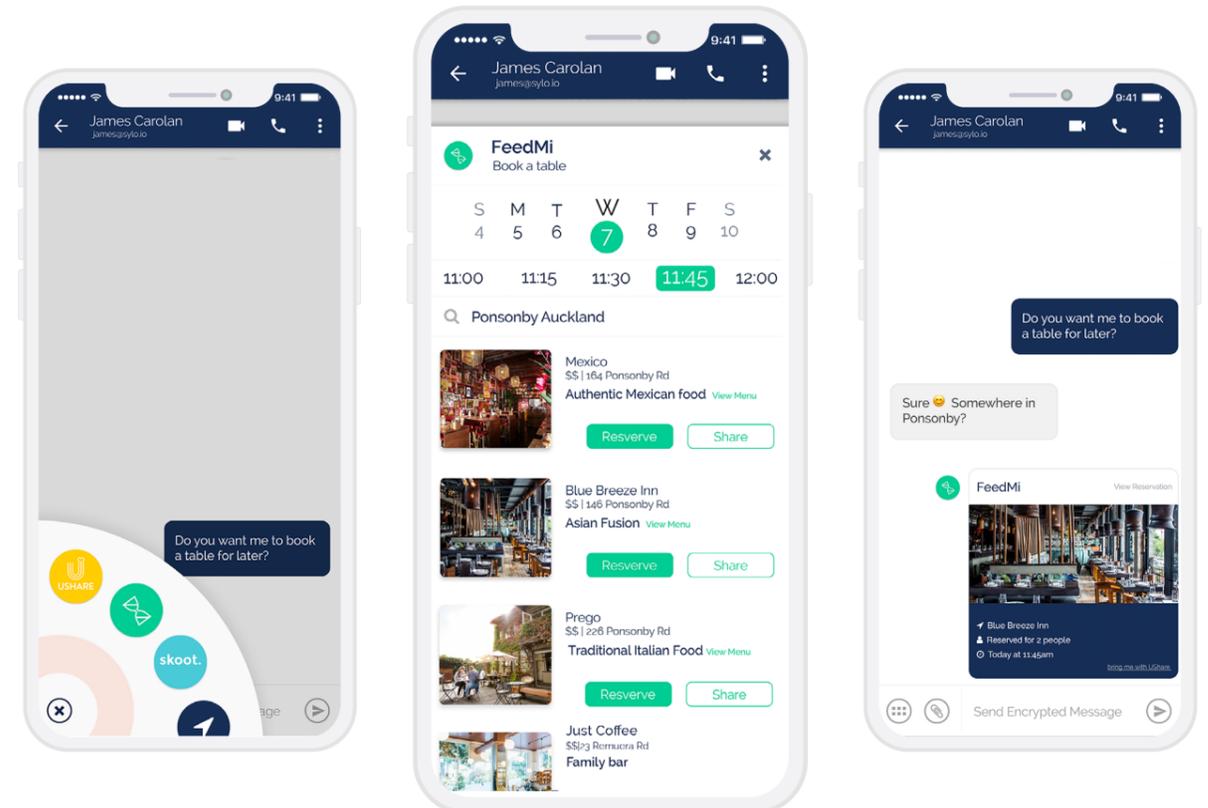


コネクティッド・カレンダーアプリケーションの一例

## Sylo チャットフィードの Connected Applications

Connected Applicationsは、Syloチャットフィードからアクセスできる機能を組み込むことが可能。下記の例では、レストラン予約サービスであるFeedMiがSyloチャットフィード内にその機能を組み込んでいます。コンテキストを変更することなくFeedMiアプリケーションの機能にアクセスすることができ、最終結果(予約)を連絡先と直接共有できる。

このチャットフィードプラグインは、構成可能なウィジェットであり、Connected Applicationsの機能(およびトークンモデル)をユーザーの日常に自然に取り入れることができる。



FeedMi Chat チャットフィードウィジェットの一例

## Sylo トークン (SYLO)

SYLO は以下の用途でSylo プロトコルにより要求される:

- 接続確立
- 分散型ストレージ
- リアルタイムでの通信への請求
- プロフィールとアドレス帳の管理

SYLOは以下の用途でSyloアプリケーション内で要求される:

- Connected Applicationsへのアクセス
- 決済手段
- 機密性を強化した分散型サービスの購入
- 紹介料 (Connected Applicationsから)

SYLOは以下の用途でConnected Applicationsにより要求される:

- プロトコルへのアクセス (アプリケーション料)
- 紹介料の支払
- Syloアプリケーション内での促進方法へのアクセス

さらに、SYLOはユーザーにより以下の事項が設定可能である:

- Sylo ストレージのコンテンツへのアクセス
- Sylo ストレージでのコンテンツ売買

## SYLOの本質と定義

SYLOは、Syloプロトコルにアクセスするために必要なユーティリティトークンである。

SYLOは、いかなる事業体のいかなる所有権、持分あるいは、Sylo事業体を含むいかなる者の財産 (知的財産を含む) を表すものではない。

保有者が支払いまたはその他の財政的利益の権利を受けることはできない。投資証券としては機能せず、資産に独占的な権利を与えることもない。

ユーザーは取引を行うことにより金銭的利益を得ることを期待してSYLOを購入すべきではない。SYLOが表す唯一の権利は、ブロックチェーンのコンテキストでSyloプロトコルが提供する機能やサービスを使うことができる権利である。



## トークンエコノミー

Syloプロトコルのエコシステムは分散型サービス、Syloプロトコル上に構築されたConnected Applications、ユーザー、ビジネスおよび開発者から構成される。

ユーザーおよびSyloプロトコル上に構築されたConnected Applicationsによって、Syloプロトコルを使用するために必要なSYLOの需要が生まれる。Syloネットワークの燃料として使用されたトークンは分散型サービスのプロバイダー（Syloネットワーク上のノード）へと送られる。

Connected ApplicationsはSYLOトークンでSylo Protocol Pte. Limited(トークン発行エンティティ)にアプリケーション料を支払い、Syloプロトコルにアクセスする。この費用はプラットフォームのメンテナンスとサポートに使用される。SyloアプリケーションはSyloネットワークのためのユーザー指向の通信および通話ハブであり、Syloプロトコル上に構築された最初のConnected Applicationsである。

### Sylo エコノミ内のトークンフロー:

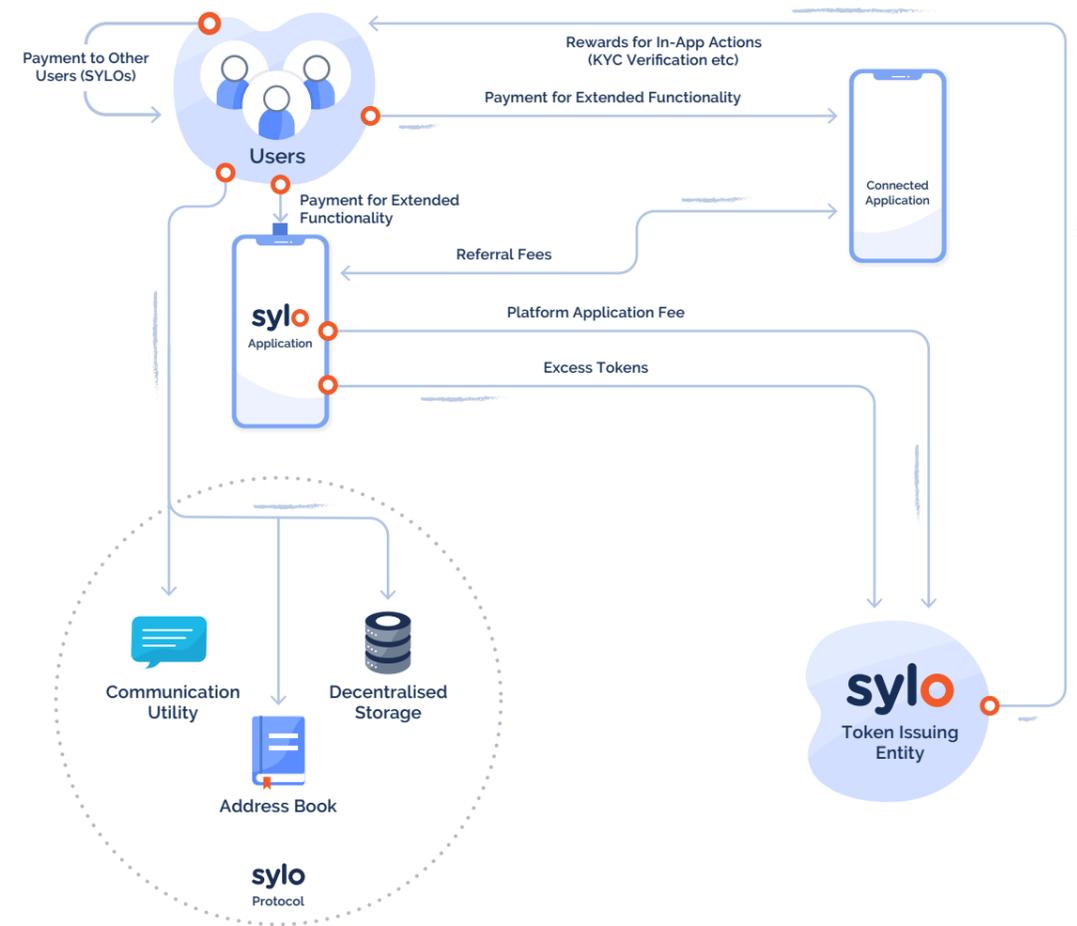


Sylo トークンエコノミー

### Sylo アプリケーション内のトークンフロー:

Syloアプリケーションは、ユーザーとSyloプロトコル上に構築された他のConnected Applicationsとの間で独自の内部SYLOフローを持つConnected Applicationsである。

Syloアプリケーションは、将来より価値のあるサービスを提供するため、Connected Applicationsから紹介料を徴収し、トークンをユーザーから得る。超過トークンおよびアプリケーション料は、開発、メンテナンスおよびサポートのためにトークン発行エンティティであるSylo Protocol Pte. Limitedへと返還される。



Sylo Applicationに関するトークンフロー

## 成長モデル

Syloプロトコルは、他の企業によるConnected Applicationsの作成を促進し、またSYLOトークンの発行機関であるSylo Protocol Pte. Limitedにより多くのユーザーを導く原動力をもたらすよう設計されたエコシステムである。

Syloの目標は、プラットフォーム上で分散化および分散型コミュニケーションのすべての利点を実現することを確実にし、ユーザーおよび企業の両方に継続して成功するサイクルを作り出すことである。

### We can't do this alone — これは私たちの力だけでは不可能である。

Syloはこのビジョンを実現するため、世界有数のブロックチェーンベンチャースタジオの1つである [www.centrality.ai](http://www.centrality.ai) と提携している。Centralityは自身の技術を利用し、DAppsのポートフォリオを急速に拡大しており、SyloはCentralityエコシステム内のDAppsにコミュニケーションおよびストレージツールを提供する唯一のプロバイダとなる。各Centrality DAppはSyloプロトコル上でConnected Applicationsとして実装され、各アプリケーションはSyloコミュニケーション・プラグインおよびSyloストレージを実行する能力を持つ。

SyloはSyloアプリケーション内で潜在的に「ネイティブ機能」となりうる特定の事業と提携する予定である。これにより、Syloは主要機能を迅速に構築することができるが、一方で外部企業によるSyloアプリケーション内での独自機能の実装を可能にする。

## トークンの発行

Sylo Protocol Pte. Limitedは、TGE (トークン生成イベント) を実施し、32.5億SYLOトークンの販売を行う。これは総発行量 1 0 0 億SYLOの32.50%に相当する。

TGEは合理的な期間内において開催され、Sylo Protocol Pte. Limitedの独自の裁量により変更、または延期される可能性がある。TGEにおいて調達した資金は進行中の開発やSYLOプロジェクト (SyloプロトコルおよびSyloアプリケーション) の維持や関連サービスへの資金として使用される。

TGEの目的は、以下のスケジュールに従って2,500万USDに相当する金額を調達することである。

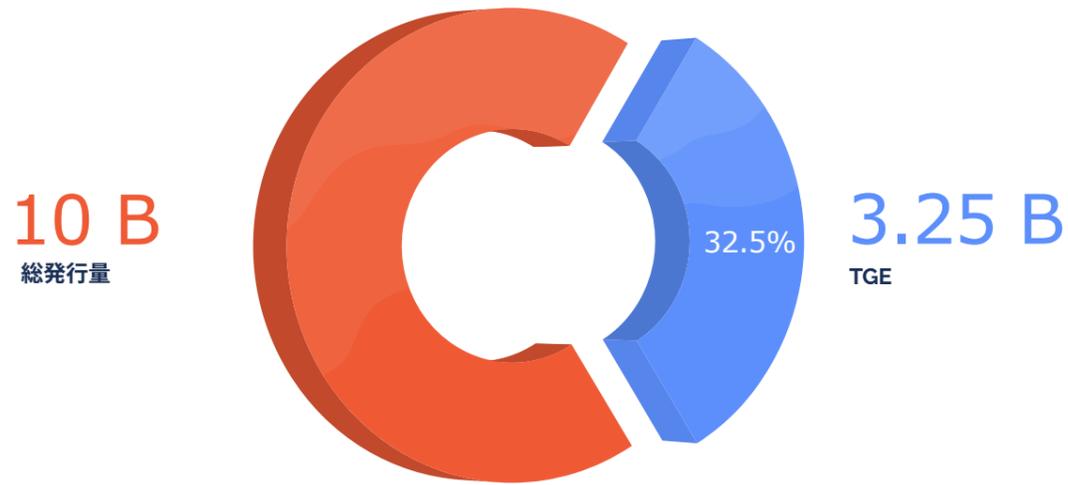
年	流入	追加のトークン リリース	チームの拡大	有機的成長	提携   M&A	流出総額	純投資
2018	179,500	—	1,550,000	10,036,500	2,300,000	13,886,500	13,707,000
2019	1,705,000	10,875,000	2,500,000	7,933,000	4,800,000	15,233,000	2,653,000
2020	8,315,000	10,875,000	2,350,000	11,750,000	4,330,000	18,430,000	( 760,000 )

**注釈:** TGEに先立ち、当社はSYLOラウンドAトークンを発行するためのプレセール (以下プレセール) を行う予定である。これらのSYLOラウンドAトークンは、DN 3010Limited (当社の所有者; Sylo Protocol Pte. Ltd) または当社を含む、いかなる人物および企業のいかなる所有権 (知的財産を含む) または利益を付与するものではない。

SYLOラウンドAトークンを保有する唯一のメリットは、TGEが行われ当社によってSYLOトークンが発行された場合、保有するSYLOラウンドAトークンに関連する数のSYLOトークンに自動的に変換されることである。

## TGE

当社の目標は、SYLOトークンを以下の分配パターンに従って、TGE（トークン生成イベント）にて分配することである。

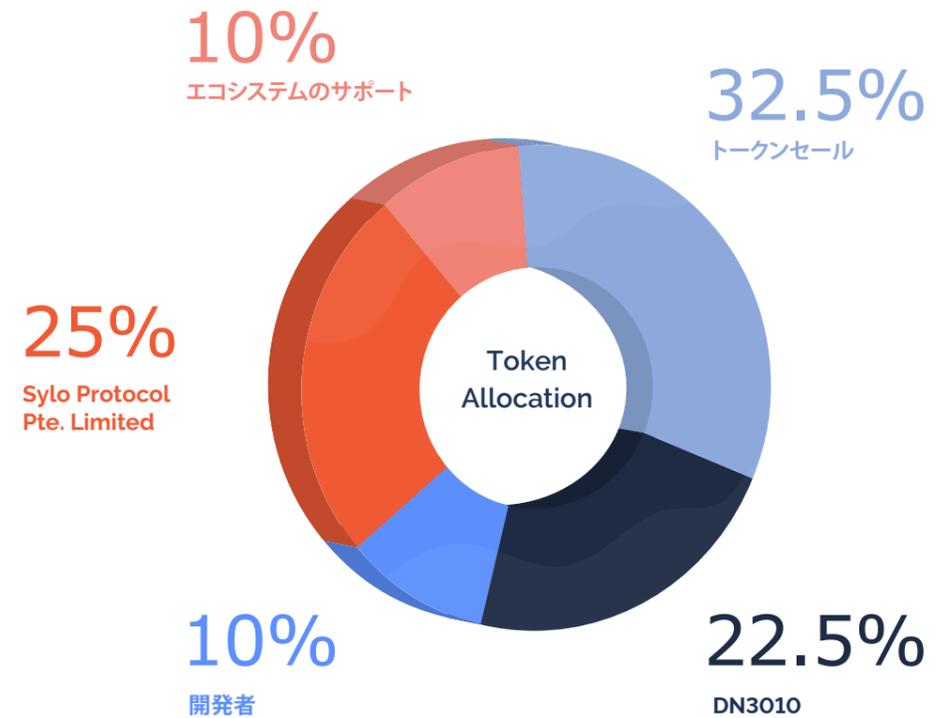


総発行量:	<b>10,000,000,000 SYLOs</b>
TGE:	<b>3,250,000,000 SYLOs</b> (または 総発行量の32.5%)
SYLO トークンコントラクトアドレス:	トークンセール前に発表予定。 トークンアドレスに送信されたETHがSYLO に互換される。
トークンセール実施期間:	60日 (当社の裁量において延期されることがある)
トークンセール終了日時:	トークンセールは最大販売量に達した場合、または販売終了日に 終了する。
SYLO発行者:	Sylo Protocol Pte. Limited (以下当社)
購入の契約条件:	SYLOトークンの購入に関する条項については、申込者と当社 が締結する関連契約書に記載されている。

## TGEでのSYLOの配分

10億SYLOはSyloエコシステムの成長を促進するために、トークンベースの経済成長のイニシアチブの一環として利用される。25億SYLOは、発行者 (Sylo Protocol Pte. Limited) により保持され、プラットフォームおよびエコシステムの成長をサポートするために必要に応じてリリースされる。これには以下の事項が含まれる:

- 開発およびSyloコミュニティの成長
- パートナーシップ統合機会のソーシング
- 非常時の準備資金
- 運営コスト、開発者、インフラストラクチャ
- Syloプロトコルおよびアプリケーションのマーケティングおよび PR の実施



トークンの配分

チームと開発者には10億SYLOが割り当てられ、プラットフォームを成長させるためのインセンティブとして確保されている。トークンセールで販売されるSYLOトークンに加え、Sylo プロトコルおよびSyloアプリケーションに含まれる知的財産権に関するSylo Protocol Pte. Limitedとの取り決めに対し、22.5億SYLOがDN3010 Limitedに発行される。

## ロックダウンおよび取引制限:

- TGE終了日よりSYLOトークンの取引に対し6週間のロックダウン期間を設ける
- DN 3010 Limited および開発者が保有するSYLOトークンは24ヶ月間のロックダウン対象となる
- Sylo Protocol Pte. Limited は6週間のロックダウン期間終了後にSYLOトークンを月に最大10%の固定レートで市場にリリースする(一か月につき2.5億SYLO)



## Sylo チーム



**Brian Russell** DIRECTOR

新興技術を深く理解している起業家であるBrianは、ヨーロッパとアメリカの最先端技術の分野で16年間キャリアを積んできた。2014年にConvidien(COVNYSE)が買収したZephyr technology Corpの創設者兼CEOを務めた。また、NASA、国土安全保障局、そしてNCSUナノテク研究機構の医療&軍事委員会のメンバー、そして多くの民間および公共部門の役職を務めた経歴を持つ。オークランド大学にて電気電子工学の学士を取得。



**Aaron McDonald** DIRECTOR

20年にわたり技術業界に携わり、様々なテック企業のチームをリードする経験や幅広いスキルを有する。現在世界有数のブロックチェーンベンチャースタジオの1つであるCentrality (centrality.ai)のCEOを務める。エンジニアリング、アーキテクチャ、製品開発および管理、マーケティングおよび販売において、10億ドル以上の価値を持つポートフォリオを管理している大手技術企業のリーダーとしての地位を築いてきた。



**Robin Johannink** DIRECTOR

ニュージーランド、アジア、米国で豊富な経験を持つ起業家そしてスタートアップ投資家。ニュージーランドで初めての無料新聞(国際出版グループに売却)およびニュージーランド初の独立系クレジットカード会社(ニュージーランド銀行に売却)を共同設立した。1994年から2004年までの間、彼のVenture Management Companyは1億200万NZDを調達し、いくつかのテクノロジー企業を公共および民間へ昇格させた。



**Daniel Gillespie** DIRECTOR

国際銀行業務と未公開株において12年以上にわたる経験を持つ。現在、Centrality (centrality.ai)のグループジェネラルマネージャー。彼の多岐に渡るスキルは戦略的な価値の創造、構造改革、資金調達、案件の発掘、投資およびポートフォリオの管理、資産実現に貢献している。様々な市場を通じた信用や企業の法的責任に関する幅広い知識を提供する多数のグループ会社の役員を務める。



**Brendon Packard** DIRECTOR

2010年からDN3010の取締役を務め、また株主でもある。2006年に設立したニュージーランドに拠点を置くエンターテインメントおよびイベント管理会社である11 Degrees Entertainmentの社長兼CEO。11 Degrees Entertainmentに先立って、3M Internationalにて10年間にわたり上級企業の営業および事業開発に携わった。



**Dorian Johannink** BUSINESS DIRECTOR

特にデジタル戦略における強みを持ち、広範囲にわたるデジタルおよびソーシャルコミュニケーションの専門知識を有する。オークランド大学のマネジメントと国際ビジネスで2つの学位を取得した。DN3010に創業以来携わっており、5年間ビジネスチームを率いている。Syloのビジネスと関係開発を推進し、ニュージーランド、アジアそして米国間において事業を行ってきた。



**Ben Jordan** PRODUCT DIRECTOR

オークランド大学では商業学士を取得し、英国で多国籍企業の有効なソリューションの開発と管理を専門としていた。ニュージーランドに帰国したBenは、最初にブランドマネージャーというポジションで入社して以来、5年間にわたりDN3010に携わっており、現在は当社のビジョンに沿った当社製品の運用と展開に全面的な責任を担っている。



**Felix Schlitter** LEAD DEVELOPER

DN3010のリード開発者。ニュージーランドに移住し3Dデザインスキル向上のためにメディアデザインスクールに参加する前はドイツでトレーニングを受けた、強力な技術スキルを持つ経験豊富なコアプログラマー。チームに強力な開発(バックエンドとインフラストラクチャ)の専門知識をもたらし、規律あるプログラミングの実践とデザインに関するヨーロッパの視点を広める。


**James Carolan** SENIOR ENGINEER

ハSYLOインターフェイスと全体的なUIを担当するシニアフロントエンドソフトウェア開発者である。彼はアイルランドのInstitute of Technology Sligoでウェブ開発および汎用コンピューティングの学士号を取得した。2010年にニュージーランドに来国しDN3010に入社する以前は、アイルランドとオーストラリアで働き、国際ウェブ開発とデジタルプロジェクト管理のスキルを習得した。


**Scott Twiname** SENIOR ENGINEER

バックエンドネットワークソリューションとアーキテクチャを専門とする経験豊富なテクニカルコーダー。オークランド大学のコンピュータサイエンス学士を取得し、4年間にわたりDN3010に携わっている。複数のプログラミング言語に精通しており、DN3010のバックエンド接続ソフトウェアとそのフロントエンドインターフェイスをつなぐ役割を担っている。過去には3Dアニメーション開発にも携わっていた。


**John Carlo San Pedro** SENIOR ENGINEER

シニアソフトウェアエンジニアであり、複雑なゲームアーキテクチャの構築からキャリアを開始し、その後この経験を商用アプリケーションに関する機能ユーザーインターフェイスの設計と開発に適用した。ロボット工学に興味を持ち、医療業界におけるロボットシステムの研究にも携わってきた。オークランド大学にてエンジニアリング(ソフトウェア)の学士号を取得。


**Ken Ha** DEVELOPER

機能性の高いUIとUXの構築に関して審美眼を持つフロントエンド開発のスペシャリスト。ニュージーランドのOtago Open Polytechnicにて学び、フロントエンドおよびウェブ開発において幅広い知識を有し、また Cisco Certified Professionalでもある。Syloではデザインチームが考案したデザインの効率的な導入を行う。


**Diego Kuplich** BUSINESS DEVELOPMENT

新製品の市場参入に特化した、経験豊富なデジタルおよびコンテンツマーケティング担当者。ニュージーランドのトップソーシャルゲーム会社Outsmartを南米市場に浸透させるための道を開いた。Feevale大学(ブラジル)の広告とジャーナリズムの両方のコミュニケーション学科で学士を取得している。国際的なシニアマーケティングとアナリストの役割を数多く持つ。


**Shaan Bhattacharya** DIGITAL STRATEGIST

広告学を大学で学んだShaanは、シンプルかつ重要な結果をもたらすブランドストーリーを紡ぐことを楽しむ。この半年で、アカウントマネジメント、ブランドプランニング、デジタルストラテジー、オペレーションおよびコピーライティング等、様々な広告を経験した。McDonaldインド社のためにデジタルイノベーションを率先して手掛けたことが評価され、2016年グローバル・ユース・マーケティング・フォーラムにて、新人賞(スターユースアチーバーアワード)を受賞した。これまで手掛けたブランドには、McDonald's, Vodafone, Hyundai, Air NZ, ANZ Bank 等がある。関連性を有しつつ破壊的な作品群を創造することが可能であるとの信念をもち、それぞれのブランドには全うすべき大きな目的があると感じている。


**Neil Morrell** PARTNERSHIP MANAGER

ニュージーランドのDHLやオーストラリアのVisionary Conceptsなどの企業で営業および開発担当を務めた、経験豊かなビジネスマネージャー兼業務実行者。Syloチームに入る前は、プロモーション会社を数年間にわたり経営し成功に導いた。急激に拡大しているビジネスパートナーシップ等の管理および開拓を担っている。


**Anabel Rae** DIGITAL COPYWRITER STRATEGIST

4年間にわたりオーストラリアの主要メディアグループの一つであるFairfax Mediaにて重要な役割を務めた、優秀なコピーライター兼ジャーナリスト。Fairfax入社前は、デジタルコミュニケーションの管理責任者やクリエイティブな役割を担っていた。オークランド工科大学にてコミュニケーションおよびパブリックリレーションズの学士号を取得し、またオークランド大学にて文学士号を取得した。


**Alice Shevela** UX/UI DESIGNER

ユーザーエクスペリエンスの重要性を探求している。複雑なインターフェイスをユーザー中心のエクスペリエンスに焦点を当てることを通じて親しみやすいものにする高いスキルを持つ。ウクライナ出身、マネジメントとアニメーションの両方で学士号を取得、社員、請負/エージェンシーとしてUI、UX、モーショングラフィックスおよびグラフィックデザインにわたる広範な経験を有する。


**Josip Matijevic** FRONTEND DEVELOPER

クロアチアのシステム統合とコンサルティング部門における大手ソフトウェア企業であるSarturaおよびAdopto、そして起業ブロードバンドサービスプロバイダであるIskonに勤務後、更なるキャリア形成のためニュージーランドに移住した。ザグレブ大学(クロアチア)にてコンピューター情報科学およびサポートサービスの学士・修士号を取得した。Syloでは、フロントエンド設計および開発チームのサポートを行う


**Jerry Shikongo** APPLICATIONS DEVELOPER

ナミビア大学で文学士号を取得後、国際機関であるDV8 Saatchi & Saatchiにてアートディレクターに抜擢され、その後Advantage Y&Rでも活躍した。その後、高度な設計技術が求められる先進的なアプリケーション開発にて重要な役割を担った。これはJerryをニュージーランドに導き、現在は分散型アプリケーション(DApps)であるSyloポートフォリオの統合通信インターフェイスの設計を担当している。


**Johnnie Cheng** FRONTEND DEVELOPER

オークランド工科大学にてコンピュータおよび情報科学の学士号を取得後、iOSおよびAndroidに特化したフロントエンドモバイルアプリケーション開発にてキャリアを形成した。Syloに入社する前は、ニュージーランドの大手通信会社であるSparkが所有していたニュージーランドの主要情報技術サービス会社の一つであるputtiに3年間勤務した。


**Adam Fisk** TECHNOLOGY ADVISOR

ピアツーピア(P2P)技術の権威であり、現在米国国務省が資金提供しているLantern ProjectをリードしているBrave New Software ProjectのCEO。LittleShootの創業者でリードエンジニアでもある。LittleShootはより堅牢なP2P構造、マルチソースダウンロードおよびビデオストリーミングを作成するVoIPプロトコルをベースにした次世代のP2Pエンジンである。以前ニューヨークのLimeWireのリードエンジニアおよびシステムアーキテクトを務めていた。


**Ruitao Su** ADVISOR

ローカルおよびグローバル企業とのモバイルアプリケーションの開発において20年以上の経験を有する。Centrality.aiのモバイル担当責任者を務め、Syloプロジェクトに広範なブロックチェーンの専門知識やガイダンスを提供している。米国で成功したいいくつかの新興企業の共同設立者であり、彼が携わった3つのアプリケーションが米国のAppleに採用された。


**Darren Green** TECHNOLOGY ADVISOR

ニュージーランドで最も尊敬される技術者の一人。Smallworlds、3Dオンライン仮想世界、2500万以上の登録プレイヤーを持つソーシャルゲームプラットフォーム、そして米国に拠点を置くベンチャー企業を支援するアウトソーシング事業であるOutsmartを含む多くの成功したソフトウェア企業を共同設立し管理している。複雑な技術開発から商業化にいたるまでの管理において高度な経験を有する。


**Peter Knowles** BUSINESS ADVISOR

ベンチャー技術企業に特化したシリアルエンジェル投資家であり、2010年12月から株主でもある。DN3010の顧問としての役割を担い、英国、オーストラリア、ニュージーランドでの豊富なビジネス経験を引き継いでいる。当社の戦略開発に積極的に貢献し、投資会社のネットワークを活用しサポートしている。

## リスク概要

本項に要約される主要リスクはSYLOトークンの購入者または保有者すべてに適用できる網羅的なリストではない。SYLOトークンの購入を行う前にこれらの主要リスクに関する内容を読みかかるリスクについて理解するものとする。

**利益または恩恵に付随するリスク:** SYLOトークン保有者が出資金額に対する利益、またはいかなる利益および恩恵を受けることができる保証はない。SYLOトークンの購入はSYLOトークンへの総出資金または保有分を損失することがあることを理解および承諾したユーザーのみが検討するものとする。

**購入画面のシステムに付随するリスク:** ユーザー自身の行為および／または不作為による、および／またはEthereumネットワーク、その他のプラットフォームおよびその他から発生または関連する技術的または運営上の欠陥、またはシステムまたはネットワークのオーバーロードを含むがこれらに限定されない様々な理由により、ユーザーへの販売期間中にSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンのオファーを行うことができない、または当該オファーの失敗または遅れが発生する可能性がある。

**利益または恩恵の保証がないリスク:** SYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンの購入者または保有者であるユーザーは出資金に対するリターン、または利益や恩恵を必ず受けられるという保証はない。ユーザーは熟考し出資額が全損失する可能性を理解し了解した上でSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンの購入を検討する。

**市場に付随するリスク:** 暗号通貨の価値は変動する。新しいビジネスモデルの登場はユーザーや投資家に機会を与える一方、成熟していない市場への参入には大きなリスクが伴う。過去の実績は将来のパフォーマンス内容を約束するものではなく、出資者は出資額の全額を回収することができない可能性がある。

**規制に付随するリスク:** デジタルトークン (SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンを含む) およびトークンオフリング、暗号通貨(ETHを含む)、ブロックチェーン技術 (当該技術を使用したファイナンシャルサービスの提供を含む)、特に暗号通貨の交換にかかる規制は比較的発達しておらず急速に変化し管轄区域によって大きく異なることがあり、常に著しい不明確性を伴うものである。新しいまたは改定される法律および規制、既存の法律および規制の解釈はSYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンの流動性および市場価格、SYLOプラットフォームを介した特定のサービスの提供または活動の実施、SYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンのトレーディングを行うためのユーザーのマーケットへのアクセス能力、当社、DN3010およびその関連・提携会社 (以下「SYLO Entities」) の継続的な関心の実行能力、SYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンのストラクチャ、権利および移転可能性に悪影響をもたらす可能性がある。ユーザーのSYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンのアクセス、使用、送信および交換を行う能力は法律、規制指針または活動およびシンガポールおよびその他の国での司法決定により影響を受けることがある。このため、新しいまたは変化する規制監視

または規制策がSYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンの価値に悪影響を及ぼさずSYLO Entitiesの活動を妨げないという保証はない。

**規制による保護に付随するリスク:** 当社はMASまたは IES によって許可または承認されておらず、現在、シンガポールの法律および規制に基づく金融サービスのライセンスまたは規制上の承認を申請する意思はない。また、SYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンは規制製品に分類されず、それを構成するものでもない。したがってユーザーは、SYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンの購入、保有または取引に関して、シンガポールの法律および規則に基づき、そのような規制製品に関して適用される規制上の保護または救済を適用することはできない。

**法律に付随するリスク:** 既存の法律がSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンの問題、交換性、決済、送信、担保、押収、貸付、抵当、償還、またはその他の処理をどのように扱うかを予測することはできず、また前例もない。また既存の法律が当社およびSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンの購入者または保有者としてのユーザー間の権利および義務をどのように扱うかを予測することはできず、また前例もない。上記の事項に関連する問題または論争の発生はSYLOプラットフォーム、すべてのConnected Applications、SYLO Entitiesの事業および／またはSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンに悪影響を及ぼす可能性がある。法律および規制の変化もまたSYLOラウンドAトークン、SYLOトークンまたはSYLOプラットフォーム、すべてのConnected Applicationsおよび／またはSYLO Entitiesの事業にかかる法律および規制に悪影響を及ぼすことがある。

**ライセンス取得および規制に付随するリスク:** SYLOプラットフォーム (すべてのConnected Applicationsを含む) が提供するコミュニケーションサービスおよび製品は厳しい規制を受ける地域を対象とし、該当する管轄区域および規制者ごとに、ライセンス取得および規制要求に対し様々な対応を行う。特定の場合に応じて、当該要求は次の事項が含まれるがこれらに限定されない: コンプライアンス上の承認要求 / 基準、資本要件、サービスの品質条件 / 基準またはその他の商業 / 運営 / 技術要件または基準。SYLOトークンおよびこれに付随するとみなされる、または関連するすべての価値は追加のライセンス取得または規制の対象となる手段、サービスまたはその他の目的 (プリペイドサービスへの事前支払いを含む) を構成することがある。このため、SYLOプラットフォーム (またはすべてのConnected Applications) が特定の管轄区域で提供され利用可能となる、またはすべての特定の場合における当該プラットフォームへのアクセスや参加、その使用が該当する地域の法律および規制を遵守するという確実性はない。

**税務に付随するリスク:** SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンにかかる税金は不明確であり、ユーザーはSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンの取得、保有または処理により発生する税金について自身の専門家にアドバイスを求めるものとする。SYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンへの投資は税金の支払い義務が発生することがある。ユーザーはシンガポールまたはその他の地域に関わらずSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンへの投資により発生する税金について自身の税務専門家

## リスク概要

にアドバイスを求め、またそのアドバイスに依拠する。ユーザーはシンガポールまたはその他の地域に関わらずSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンの購入、保有、トレーディングまたは処理により発生するすべての税務を理解し遵守することに一切の責任を負う。シンガポールまたはその他の地域に関わらず当社によりSYLOラウンドAトークン保有者またはSYLOトークン保有者への支払いはすべて源泉税控除後に行われる（該当する場合）。7%（または法律により求められるその他の税率、その他の類似または同等の税）のシンガポール商品サービス税がSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンの発行に加算される場合、当該SYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンを購入する保有者は発行価格に加え当該シンガポール商品サービス税を負担するものとする。

**当社に付随するリスク:** 当社は2018年3月20日に設立され現時点ではその運営を開始していない。当社は常にすべての新規事業に関連するビジネスリスクおよび不明確性を持つ。

**投票および解体の実行権利に付随するリスク:** SYLOトークンはいかなる投票、管理または制御を行う権利またはその他の管理および制御を行う権利を有さない。当社の株主が当社に関連する決定を下し、これには重要な企業間取引または当社の解体または解散が含まれる。加えて、当社の解体、倒産またはその他の解散において、SYLOトークン所有者は解体に関連する権利またはその他の申し立てを行う権利を有さない可能性が非常に高い。

**主要人物に付随するリスク:** DN 3010がトレーニング、システム化、後継者選びを通じて主要人物に関するリスクに対応するために尽力してもなお、主要チームメンバーを失う可能性がある。これがSYLOトークンのプラットフォーム開発の遅延につながり、SYLOラウンドAトークンおよび／またはSYLOトークンの価格に悪影響を与えるリスクがある。

**技術と暗号化に付随するリスク:** ブロックチェーンとスマートコントラクト技術は未だ開発の初期段階にあり、そのアプリケーションは実験的な性質を持ち操作上および技術上大きなリスクを伴う。TGEのスマートコントラクトシステム、プレセールにおけるスマートコントラクトシステム、またはSYLOプラットフォームの要素は弱点、脆弱性またはバグを含む可能性があり、これらが所有者の有益および／またはSYLOプラットフォームの操作と機能に大きな影響を与えSYLOトークンの価値の完全な損失につながる可能性がある。また外部要因が個人の利益に対しエラーや脆弱性を引き起こし、また当該外部要因でない何らかの原因によりSYLOプラットフォームが影響を受ける可能性がある。

**プラットフォームに付随するリスク:** SYLO EntitiesがSYLOプラットフォームの開発を進める一方で、SYLOプラットフォーム（またはすべてのConnected Applications）が本書に記述されるように設計または完成する保証はなく、SYLOプラットフォーム（またはすべてのConnected Applications）が完成した場合、その運営および機能が継続して行われる保証はない。SYLOプラットフォーム（またはすべてのConnected Applications）は常に変更する可能性があり、その機能が継続して提供され、また常に利用可能であるという保証はない。

**取引および評価に付随するリスク:** SYLOプラットフォームおよび／またはConnected Applicationsの正常な運営により、ユーティリティ・トークンとしてSYLOトークンならびにSYLOラウンドAトークンの本来の価値が得られる。SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンはいかなる法定通貨（主権政府の支援を受けた通貨）や暗号通貨にペグ（釘付け）されるものではなく、第三者取引所のSYLOトークンの交換価値は必ずしもSYLOトークンの本来価値を反映するわけではない。SYLOトークンを購入または処理する際の損失のリスクは相当に大きく、損失は急速に悪化する可能性がある（Ethereumネットワーク上に構築されたトークンとしてSYLOトークンの価値は法定通貨やその他の通貨に対するEthereumの時価評価により影響を受ける可能性がある）。

**流動性に付随するリスク:** TGE実施直後にSYLOトークンは発行されないが、リザーブ分は当社が保有し、また当社が保有するSYLOトークンはゆっくり時間をかけて市場にリリースされる。SYLOプラットフォームおよび／またはConnected Applicationsエコシステムの使用を一時的に、永久に、または部分的に停止する場合、SYLOトークンを法定通貨や暗号通貨と交換することにより清算を行えない可能性がある。これはSYLOトークンの価格と量に同意し購入を希望するバイヤーがいなくてもよいかもしれないためである。所有者は公開前にSYLOトークンを交換または売却する権利を有さない。当社はいくつかの暗号通貨取引所へのSYLOトークンの登録申請を行うが、当該取引所がSYLOトークンのリスティングを許可しない、また承認された場合でもリスティングを継続しない可能性がある。セカンダリーマーケットが確立される、またはセカンダリーマーケットが確立された場合、保有者にSYLOトークンの流動性または持続性を提供する保証はない。また、中央銀行または中央当局がSYLOトークンから法定通貨または暗号通貨への交換を保証することはない。さらに、デジタルトークン市場は新しく急激に成長しているため、デジタルトークンの価格に著しい変動をもたらす不測の事態が起こる可能性に常に晒されている。SYLOトークンに不測の事態が起こらない、またはこの不測の事態が保有者によるSYLOトークンの売却能力に悪影響をもたらさないという保証はない。

**ネットワークに付随するリスク:** SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンは暗号通貨およびスマートコントラクトプロトコルを含む分散型ネットワークであるEthereumネットワーク上に構築されたERC20準拠トークンである。SYLO Entitiesはトランザクションの承認やネットワーク上のスマートコントラクトの実行を含むEthereumネットワークの制御に一切関与しない。Ethereumネットワークがネットワークの減速やトランザクション確認の遅延を含む一時的または永続的な問題に直面した場合、SYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークン保有者がSYLOエコシステム内でSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンを自由に使用できず、一般的なSYLOプラットフォームまたはConnected Applicationsの有用性を失う可能性がある。

**サイバーセキュリティに付随するリスク:** SYLOラウンドAトークン、SYLOトークンおよびEthereumネットワークの性質は詐欺やサイバー攻撃のリスクを増加させる可能性があり、SYLOプラットフォームおよび／またはConnected Applicationsエコシステムの開発者およびユーザーが経験する技術上の困難により保

## リスク概要

有するSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンへのアクセスや使用が妨げられる可能性がある。例えば権限のない第三者がSYLOプラットフォームおよびConnected Applicationsコードにおいてコードの脆弱性を悪用し、損害、侵害を与えまたは攻撃を行う可能性がある。SYLOプラットフォームまたはConnected Applications、および特定のアプリケーションや関連システムにおけるユースケースによっては、第三者の権利に準拠し、また適切な第三者から得られる同意が得られていることの確実性なしにSYLOプラットフォームまたはConnected Applicationsへのアクセスや参加、その使用が構成されることがある。すべての特定のユースケースにおいて提供および実施されるSYLOプラットフォームまたはConnected Applicationsへのアクセスや参加、その使用はサイバーセキュリティにおける事故が発生するまたは引き起こすことがあり、また合法的に実行される前に追加の同意を必要とすることがある。

**秘密鍵に付随するリスク:** SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンの秘密鍵を選択、保存、または送信する際は常に細心の注意が必要である。SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンの保管については各ユーザーが一切の責任を負う。第三者が秘密鍵にアクセスできる場合、SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークン、またはこれらを購入するために使用するその他の暗号通貨の盗難につながる。さらに秘密鍵へのアクセスを失った場合、SYLO Entitiesまたはその他いかなる機関も失われたSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンまたは暗号通貨を回復することができない。暗号通貨取引所でSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンを保持すると、秘密鍵は取引所で保管される。万が一その取引所がハッキングまたは何らかの方法で侵害された場合、SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンが盗まれたりアクセス不能になる可能性がある。

**ウォレットに付随するリスク:** SYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンをサポートしていないウォレットにSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンを送信する場合、SYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンが永久に失われる可能性がある。

**ブローカー、ディーラーまたは取引所の破たんに関連するリスク:** ブローカー、ディーラー、取引所またはウォレットが破たんまたは安全性が低下するリスクがある。これらの破たんまたは安全性の低下が起こった場合、資産にかかる権利の実行に関連する実質的なまたはタイミングの問題が発生することがある。

**財務に付随するリスク:** DN 3010または当社の支払能力が損なわれた場合、SYLOプラットフォームおよびConnected Applicationsの実行性とSYLOラウンドAトークンまたはSYLOトークンの有用性および価値が損なわれる可能性がある。

**一般的なリスク:** ブロックチェーン業界および当社が依拠するブロックチェーンネットワークの成長は常に高い不確実性を持つ。

SYLOプラットフォーム（またはすべてのConnected Applications）の性能は特に次の不確実性を持つ：

- (a) Bitcoin (BTC)、ETH およびその他のブロックチェーン技術の適用および使用における世界的な成長
- (b) 政府および準政府による BTC、ETH およびその他のブロックチェーン資産およびその使用の規制、またはブロックチェーンネットワークまたは類似システムへのアクセスおよび運営にかかる制限または規制
- (c) BTC または ETH ネットワークのオープンソースソフトウェアプロトコルの維持および開発;
- (d) 顧客層および消費者趣向および嗜好の変化
- (e) 新しい商品およびサービスの販売形態および方法、または法定通貨または既存のネットワークを使用した新しい方法を含む資産の取引の登場および需要
- (f) 暗号通貨およびデジタルトークンに関連する一般的な経済状態および規制環境
- (g) 暗号通貨およびデジタルトークンのハッキングおよび盗難
- (h) BTC または ETH ネットワークの需要または採用、および新しい暗号通貨、デジタルトークンおよび;
- (i) ブロックチェーンネットワークの登場

BTC、ETH、デジタルトークンおよびその他のブロックチェーン資産は常に急激な変動が起こる可能性を持つ。次の事項を含むいくつかの要因が価格に影響を及ぼす可能性があるが、これらに限定されない：

- (a) 世界的なブロックチェーン資産の供給
- (b) 小売業者の成長、および事業による暗号通貨などのブロックチェーン資産を製品やサービスへの支払い方法としての採用、ブロックチェーン資産の取引所および資産を保有するデジタルウォレットのセキュリティ、ブロックチェーン資産の使用および保有が安全であり高セキュリティであるという認識、およびその使用にかかる制限または禁止により影響されることなどに影響される世界的なブロックチェーン資産の需要
- (c) インフレーションのレートに関連する投資者の期待
- (d) ブロックチェーンネットワークにおけるソフトウェア、ソフトウェアの要求またはハードウェアの要求の変化
- (e) ブロックチェーンネットワークにおける様々な参加者にかかる権利、義務、インセンティブまたは報酬の変化
- (f) BTC および ETH およびその他の暗号通貨またはデジタルトークンのレートを含む通貨の交換レートの法定通貨への交換
- (g) ブロックチェーン資産取引所の法定通貨の引き出しおよび入金の規定および当該取引所の流動性
- (h) 主なブロックチェーン資産取引所によるサービスの中断または故障
- (i) ブロックチェーン資産への直接的または間接的な投資に使用されるプライベートまたは登録資金を含む多数の投資者による投資およびトレーディング活動
- (j) 政府による金融政策、取引制限、通貨切り下げおよび平価切上げ

- (k) ブロックチェーン資産の使用に影響する規制措置(該当する場合)
- (l) Bitcoin または Ethereum ネットワークのオープンソースソフトウェアプロトコルの維持および開発
- (m) 世界的または地域的な政治、経済または金融における出来事および状況
- (n) ブロックチェーン資産の価値が変化するというブロックチェーン参加者の期待

ブロックチェーンネットワークは当該ネットワークとつながっているコンピューター間の P2P インタラクションを統制するソフトウェアプロトコルに基づいている。

当該ネットワークのSYLO Entitiesの事業に対する当該ネットワークの適合性またはSYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンの機能性は次の事項を含む様々な要因に影響を受ける：

- (a) ネットワークの基礎となるプロトコルの開発を担う(ほとんどの場合非保証の)  
開発者の非公式なグループの有効性
- (b) ネットワークバリデータおよび無効なトランザクションの承認に対するネットワークの安全性を高める当該ネットワークのコンセンサスアルゴリズムの有効性
- (c) 当該ネットワークの開発者およびバリデータ間の論争
- (d) Proof of Work および Proof of Stake スキーム間の移行を含む当該ネットワークの基礎となる  
コンセンサスまたはバリデーションスキームにおける変更
- (e) SYLOプラットフォームまたは技術的な資産またはユーザーおよび第三者のネットワークまたはデバイス上に  
関わらず、当該ネットワークのサイバーセキュリティコントロールの故障またはセキュリティ違反、およびデータ  
の損失、データおよびデバイスへのダメージ、プライバシーおよびデータ保護への脅威または侵害に関連する  
法的行為または規制機関による行為にかかるリスク、および詐欺または危害の発生
- (f) 当該ネットワークの競合バージョンの存在、これにはその他の Forked(分岐した)ネットワ  
ークを含むがこれに限定されない
- (g) 当該ネットワークにおいて未だ発見されていない技術的な欠陥の存在
- (h) システムの機能性に影響を与える恐れがある新しいまたは存在するハードウェアまたはソフトウェアツールま  
たはメカニズムの開発
- (i) ネットワークに関連するブロックチェーンアセットの価格
- (j) 当該ネットワークの参加者に対する知的財産権またはその他の法的要求、および当該法的要求に関連するリ  
スク(SYLOプラットフォームまたはConnected Applicationsの運営が差し止め命令といった措置の要求を含  
む要求により論争が引き起こされるリスクを含むがこれに限定されない)
- (k) 当該ネットワークに関連して使用されるコンピューターソフトウェアプログラミング言語の成熟性

上記に記述する状況の好ましくない展開または性質はSYLO Entities の事業、SYLOプラットフォーム、Connected Applications、SYLOラウンドAトークンおよびSYLOトークンの正常な動作に悪影響をもたらす可能性がある。

sylo

SYLO.IO